

広報 えびな

世帯と人口

(平成5年7月1日)
世帯 38,062 (+40)
人口 110,441人 (-17)
男 56,971人 女 53,470人

編集・発行
海老名市役所広報広聴課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎(0462) 31・2111

いにしへの風俗を一冊に

市史の「民俗」編を発売します



「辻飯」知ってますか

みなさんは、「辻飯(つじめし)」という行事を知っていますか。
市内の中河内では、犬や猫などの死体を人通りの少ない辻に埋葬していましたが、ある年、伝染病が発生したため、辻に埋葬された動物たちの霊に村を守ってもらおうと、地元の少女たちが、ご飯と御神酒を辻に葬られた動物たちの霊に供える、という珍しい行事がこの辻飯です。昭和17年ごろまでは、毎年盆の14日に行われていました。
右の写真は、本書作成のため、古老たちの記憶をもとに地元の子供たちに辻飯を再現してもらったものです。この辻飯は、第8章「年中行事」の中に掲載されています。

市では、古来から海老名に綿々と伝わる風俗、習慣、人々の生活の様子などを集大成した「海老名市史9別編 民俗」を八月五日に発行します。この本の作成にあたり、市では調査委員会を編成して、昭和六十三年から市内各地で調査を続けてきました。人々に語り継がれ、受け継がれてきた海老名の生活や文化が、写真や図版を多用して誰にでも分かりやすく解説してあります。ぜひ一度ご覧ください。

本 風俗や習慣を紹介

今回発行する「海老名市史9別編 民俗」(A5判別刷、2千部発行)は市史として第一回の配本です。忘れ去られようとしている有形無形の生活文化を記録するとともに、今日の都市化の中でもなお受け継がれられている年中行事や習俗を取り上げています。この本の内容は、

△第一章 社会生活▽村の道普請や堀さらいの共同作業の様子や、青年会の活動など。
△第二章 生業▽今では行われていない、たけご栽培の流れや、農業に使われた各種の農具も紹介。
△第三章 被服▽農作業中に男性が着ていた「トーション」と「モモヒキ」や、礼服、子供服などを図版や写真を使って紹介。
△第四章 食▽文献では記録されていない、ふだんの食事の材料や作り方など。
△第五章 住居▽現在も使用されている四部屋からなる「四間取り」の住居や、今では珍しくなくなった蚕室、棟上げなどを掲載。
△第六章 人の一生▽見合いの席で出席者が全員そろった場所に娘がお茶を運び、見合いの様子などが紹介。

△第七章 信仰と俗信▽今でも各地で行われている日待講や、かつての代参講の方法、民間療法などを紹介。
△第八章 遊戯▽各地の古くから直接聞いた方言を三十三ヶ所にわたり五十首順で紹介。
△第九章 芸能と子供の遊び▽以前は盛んに行われていた地芝居の様子や、古老たちの子供のころの遊びを紹介。



上棟式ではノサを立って餅まきが行われた。(昭和45年撮影)



農作業の合間のひと休み。女性は綿木綿の長着にタスキをかけ、男性はトーション・モモヒキ姿だった。(昭和13年に撮影)

500人に聞き取り調査

「海老名市史9別編 民俗」は、大学で民俗学の講師をされている小林梅次氏を委員長として、民俗建築学専門の有識者などとの「海老名市史民俗調査委員会」の六人の方々が調査・執筆を行いました。
風俗、習慣、人々の生活の様子は、人から人へと語り継がれている場合が多く、文献で保存されているものが少ないため、同書を発行するにあたっては、同委員会では、平成元年六月から二年間、市内十八カ所の地区で「民俗座談会」を開催し、明治、大正、昭和生まれの方々から当時の生活の様子などの聞き取り調査を行いました。特に女性の参加者からは、服装や食事などについても詳しく聞くことができました。
また、各地区で行われている地蔵講などの行事は、取材に赴くなどして、約五百人の市民



「海老名市史9別編 民俗」を発行

本 無料で頒布します

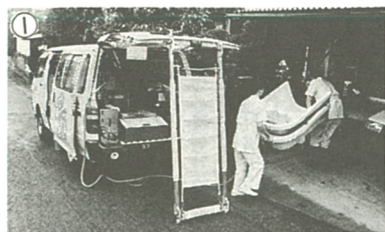
「海老名市史9別編 民俗」は、一冊五千円ですが八月五日から市役所地下売店または市史編さん室(5階)で有料頒布します。郵送の場合は、頒布分の定額小為替に郵送料金(市内部、市外60円)分の切手を添えて申し込みください。
また、同書は市図書館で閲覧ができます。
なお、市では「海老名市史編さん基本構想」に基づき、平成十八年までに、資料編六巻、通史編三巻、別編として民俗を含む三巻の合計十巻の市史を発売する予定です。
▼問い合わせは、市史編さん室(内線・2)へ。

豊かな心

広げよう交流と連帯



多彩な催しで結ぶ固いきずな



① 移動入浴車がお伺いします。専用移動入浴車がご家庭まで出向いての室内に専用浴槽を設置して②寝たままの姿勢で入浴することができます。



② 訪問入浴サービスをご利用ください。



訪問入浴サービス

「訪問入浴サービス」をご利用ですか。このサービスは、寝たきりの方や、身体に障害があり入浴が困難な方のために、専用の移動入浴車が家庭まで出向いて、室内に専用浴槽を設置し、寝たままの姿勢で入浴ができます。ご利用の申し込みは、市では、以前から特別養護老人ホーム第二中心荘を利用して入浴サービスを行っていましたが、自動車での移動が苦手な方や、屋外に出ることに不安な

「訪問入浴サービス」をご利用ですか。このサービスは、寝たきりの方や、身体に障害があり入浴が困難な方のために、専用の移動入浴車が家庭まで出向いて、室内に専用浴槽を設置し、寝たままの姿勢で入浴ができます。ご利用の申し込みは、市では、以前から特別養護老人ホーム第二中心荘を利用して入浴サービスを行っていましたが、自動車での移動が苦手な方や、屋外に出ることに不安な

昼食を楽しくついで

毎月一回、市中央公民館などで行っている「昼食のついで」をご存じですか。このついでには、ボランティアの協力を得て、栄



みんな一緒に楽しい昼食のついで

各種サービスの利用を

市では社会福祉事業の一環として、ひとり暮らしのお年寄りに対して「昼食を楽しくついで」を、また、寝たきりの方を対して「入浴サービス」を行って

福祉のついで	
10:00	11:00
子供ばやし	踊り
マジック	休息
手話の歌	のど自慢
大正琴	スタンプ・ラリー
模擬店	模擬店
アイバンクコーナー	アイバンクコーナー
ビンゴゲーム大会	ビンゴゲーム
車いす体験	車いす体験
もちつき	もちつき
筆記通訳あり	飲食コーナー
映画	映画
抽選	抽選
手芸のふれあいコーナー	手芸のふれあいコーナー
ボランティアコーナー	ボランティアコーナー

休館します・コミセンが6館

市内のコミュニティセンターと勝勝文化センターは、次の日程で夏期休館いたします。

- 柏ヶ谷コミュニティセンター 8月13日、15日
- 大谷コミュニティセンター 12月15日
- 中新田コミュニティセンター 13日、15日
- 上今泉コミュニティセンター 14日、16日
- 園分コミュニティセンター 14日、16日
- 勝勝文化センター 13日、15日、21日、22日



会場に来ると音楽の魅力がわかります(去年撮影)

第8回若老市民音楽祭 園や演出に工夫を凝らして、9月5日(日)午前10時から市文化会館で行われます。この音楽祭は、市内のアマチュア音楽サークルで構成された若老市民音楽実行委員会(田辺智子委員長、19団体)が主催するもので、器楽、合唱、邦楽の3部門で構成されています。

楽しんで！心のメロディ

%文化会館で市民音楽祭

園や演出に工夫を凝らして、9月5日(日)午前10時から市文化会館で行われます。この音楽祭は、市内のアマチュア音楽サークルで構成された若老市民音楽実行委員会(田辺智子委員長、19団体)が主催するもので、器楽、合唱、邦楽の3部門で構成されています。

求めあふれ

めて

8月15日
9月30日

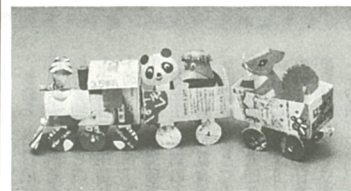
福祉強調月間に各種催し物

ご参加ください！夏の児童館まつり

8月30日、市中央公民館で

市教育委員会は、男女の別なく工作が楽しめる「夏の児童館まつり」を行います。作るものは空中を飛ぶUFOや、動物たちが乗った自動車などです。どうぞ、ご参加を。

▷日時 8月30日(月)午前9時半～午後3時半▷会場 市中央公民館▷対象 市内小学生80人▷持ってくるもの 弁当、水筒、はさみ、物差し、ボールペン、千枚通し(持っている人のみ)、カッター、1000ccの牛乳パック3箱▷申し込み 問い合わせ 社会教育課(内686、687)、定員になり次第締め切ります。



動物たちが乗った自動車を作ろう！

10月15日から11月30日まで

市民休養施設「えびな蓼科荘」休館いたします

市民休養施設「えびな蓼科荘」は、男湯などの改修工事を行うため、10月15日(金)から11月30日(火)までの間休館します。なお、12月1日からの利用の申し込みは、通常どおり3か月前の9月1日から受け付けますので、みなさんご利用をお待ちしています。

▷施設利用の申し込み・問い合わせは、広報広聴課(内275)へ。

作品の作品展

出演者を募集

市民文化祭は11月6日、7日



展示部門には華道などさまざまな作品が(去年撮影)

プログラム	
10:00	15:00
歌と踊り	大広間(1階)
演芸	屋外
屋外	屋外
屋外	屋外
屋外	屋外
ゲートボール	集会室(1階)
屋外	第1会議室(2階)
屋外	第2会議室(2階)
屋外	研修室(2階)
屋外	視聴覚室(2階)



島山みどり

社会福祉大会

社会福祉に対する意識の高揚を目的とした大会です。当日は島山みどりショーをはじめとする各種催し物が行われますので、お気軽にご参加ください。入場は自由です。

▷日時 9月19日(日)午後一時から ▷ところ 市文化会館

黄色いハンカチ

このハンカチは、必要とされる体の不自由なお年寄りや障害者の方に差し上げます。また、「MAY I HELP YOU(手助けしようか)」の文字が入ったシャツやボロシャツを販売いたします。

▷問い合わせ 市社会福祉協議会(☎35・0220)へ。



ばい

愛護作品展

県央地区各施設の知的障害者が制作した絵画、彫刻などを展



園児からお年寄りに花束のプレゼントも…(去年の敬老のついで)

長寿のお祝い

▽とき 八月三十一日(火)九月五日(日)午前十時午後七時半(最終日は午後六時半)▷ところ サナイ海老名店三階文化ホール(内)問い合わせ 福祉課(内)へ。

福祉のついで

▽とき 八月十九日(日)午前十時から ▷ところ 市総合福祉会館 ▷内容 下園参照(内)問い合わせ 社会課(内)または市社会福祉協議会(☎35・0220)へ。

平成5年度第2期公民館講座一覧表

Table with columns: 講座科目, 内容, 期間, 曜日, 回数, 時間, 会場, 講師, 定員, 持ち物, その他. Lists various courses like French home cooking, tennis, and history.

Table with columns: 講座, 科目, 内容, 期間, 回数, 会場, 講師, 定員, 持ち物, その他. Lists youth and municipal courses like tennis and painting.

市中央公民館では、平成五年... 公民館講座など13科目... 復はがき一枚につき...

学んでみませんか 公民館講座など13科目



コーサージュ作りが学べる教室もあります(前掲)

公民館だより

「梅はほしは食べられませんが...」という意地悪な質問に「はい、大好きです」と返した青い目...

英語の理解は心と自信

学校、柏ヶ谷中学校の三校で受け持ち、英語の先生と二緒に授業をする。



外人講師として来日2年 ロバーツ・アンドレー・ロベルさん



自分の役割は、生徒に「英語を話せなくても興味を持ってもらうこと」と、通常の授業...

彩られた小箱に個性が光る

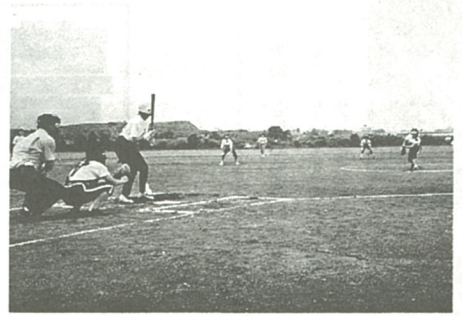
「趣味の教室 トールペインティング」



小箱に色塗り作業をする受講生

は、二十人の受講生たちがミニティッシュケース、蓋付小物入れ、キッチンタオルスタンドに模様を描き色を塗る作業にチャレンジしました。

秋の総合球技大会



女性チームの出場も大歓迎(写真は去年の大会から)

第九回市民総合球技大会が次... 参加申し込みは8月13日までに... 所定の申し込み用紙で八月十三日(金)までに...

生涯スポーツ指導者育成講習会

県立東地区体育センターで、県立生涯スポーツの指導者を育成するため、次のおり生涯スポーツ育成講習会を実施します。

ニュースポーツ紹介

ソフトバレーボール、インドアカ... 市体育指導委員連絡協議会では、家族で気軽に楽しめるニュースポーツを紹介いたします。

スコアブック

運動公園 フェスティバル イースタンリーグ公式戦 野球観戦者を募集... 9月15日(水) 海老名運動公園で「93海老名運動公園フェスティバル」が開催されます。

- List of names and scores for various sports events, including baseball and basketball.

海老名タイムトンネル 写真が語る市制20年の歩み... 配られるお菓子が楽しみ... 写真は昭和三十一年、門沢橋の渡り神社で行われた夏の祭りの様子を撮影したものです。

最優秀に第10分団
市役所で操法大会

消防団員の日ごろの訓練の成果を競い合い、技術の向上を図るための市消防操法大会が、七月十一日、市役所西側催事広場で行われた。

会場には市内十五分団(百一十三人が集合、指揮者以下五人の分団員が重さ八〇のホースを約六十メートル延長し、放水で標的を



号令とともに機敏な操法が行われた

海老名むかしむかし
電話で海老名の昔ばなしが聞けます。
7月20日～8月9日 第14話 住職の窮地を
8月10日～8月30日 第14話 焼捨山

フォトピックス



真剣な表情でわたあめ機。作りに取り組む親子

わたあめ機に挑戦
親子ふれあい教室

七月十日、市中央公民館で、市内の小学生とその親が協力し合ってわたあめ機を作る「親子ふれあい教室」が開かれた。

当日は、四十五人の親子が参加し、海老名中学校の白銀一則教諭の指導で、わたあめ機作り

このわたあめ機は、空き缶の側面にわたあめのできる穴をピンで開け、固形燃料で熱しながらモーターで回し、割りばしに絡めるもの。

参加した子供からは、「空き缶の穴を開けるのが大変。わたあめが膨らまず茶色なあめもあつたけれど、白いふくらしたわたあめができたときは思わず「親子ふれあい教室」と話していた。

日ごろの成果を発表
20周年の市美術協会



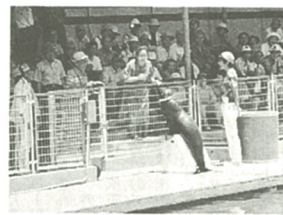
作品の前で足をとめて見つめる来場者

を記念し、七月十三日から十八日までの六日間、「協会展」を海老名サティ三階文化ホールで開催した。大勢の来場者でにぎわった会場には、市内の田園を描いた風景画などの絵画四十九点と陶芸十点が展示された。

ミニ旅行で交流
市老連がバスハイク

七月六日、市老人クラブ連合会(廣野登喜雄連合会長)主催の「バスハイク」が行われ、市内のお年寄り約三百七十人が江の島マリンドックで楽しいひとときを過ごした。

この「ミニ旅行」は、ふたたび



アシカのショーも見学

同協会員の中には、市内内外の美術サークルで指導的な立場にいる人が多く、抜群の完成度と迫力を誇る作品群を前に、長時間足をとめる人が続出。「みんな素晴らしい作品ばかり」という声も聞かれ、来場者は、ひとときの芸術鑑賞を十分に楽しんでいた。

会う機会が少ない各地区の老人クラブ間の親睦と交流を深めるため、年一回行っているもの。マリンドックでは、水族館やイルカ、アシカのショーなどを見学して、江の島の海岸で昼食をとりながら互いの近況報告に花を咲かせていた。

海老名むかしむかし

青い目の人形

第307話



青い目を黒く塗られた人形

昭和二年の春、日米親善と平和を願う使節として、アメリカから太平洋を越えて、青い目をした人形が一万二千七百三十九体、日本の小学校や幼稚園に贈られてきた。

この背景には、大正十三年アメリカ議会に於いて排日移民法が成立し、それ以来悪化の一路をたどる日米関係があった。

日露戦争後、移民熱をあおられた日本の農家の二男、三男は、アメリカへ多数渡った。そして、農業をはじめ鉄道や鉱山で、農産物をもつて勤勉に働いて金を貯めた。成功者の中には、その金を懐中に故郷へ錦を飾る者もあった。

こうしたことが白人に、「日本人は恐るべき黄色人種だ」という印象を与え、排日思想が高まっていった。そしてついに帰化不能、土地所有禁止の法案成立となったのである。

植民地米大使が、審議中の法案に関してその抗議文の中で用いた「重大なる結果、成功者がアメリカで問題化した」「日米若し戦はば」などの本が読まれたのもこのころである。

当時、ニューヨーク市の親日家キリック博士は、この事態を非常に憂い、同じく心を痛めていた日本の有名な財界人である波沢栄一翁に呼びかけ、人形による友好親善を提案した。

翁の熱心な奔走により、文部省も全面的に協力することになった。そうして、全米の小学生たちの募金で、全米の人形たちが、日本の贈祭りに

私たちが参加させてください」というメッセージを持って、はるばるやってきたのである。

かわい親善使節のうち、神奈川県へは百六十六体が分配された。海老名、有馬両村の小学校では、どういう受け入れ方をしたかわからないが、私が勤めていた綾瀬小学校では、毎年併設されている実業補習学校の女子部の生徒が難

反響は大きく、日本の習慣として何か謝意を表したいと、全国の女子児童の「銭提金」もとに五十八体の人形を作り、これを答礼使節として、全米各州に一律ずつこの年のクリスマスに贈り、友好促進に尽くしたのである。

伝えによると、この五十八体に対し、またアメリカから七十五体の人形が贈られてきたという。

それから十四年後、日米間に不幸な戦争が始まると、鬼畜米撃つべしと、敵愾心の高揚が叫ばれ、親善人形も敵性人形として、文部省の指導で次々と焼却処分になされた。しかし、その狂気までも章夫氏は、

「これは問題の人形であるから、人目につかせるな」といって、物置深くしまっておいたのである。

ここで問題になるのは、くだんのアメリカ人がどうしてこの人形を手に入れたかである。今は亡き藤一氏の周辺の人に当たってみると、昔目見当がつかない。最初に贈られてきた人形は女の子で、背丈は四十センチであるのに対し、数奇な運命をたどったこの人形は、身長五十六センチで男の子らしく見える。口もとは小さく目は大きく、愛くるしい面立ちをしている。

何はともあれ不確定要素があり、今一つ決め手を欠くが、関係したアメリカ人の言葉を信じ、約七十年前のこの人形を見つめていると、何となしに、ほのぼのとした温かみものが伝わってくるような気がしてならないのである。

(池田 武治)

※この青い目の人形は、八月一日から十月十五日(予定)まで市温故館に展示されています。

だが、あなたの娘のチエちゃんにプレゼントします」といって一体の人形が氏に渡された。弥一氏は、それをまた当時五、六歳だった米多家の孫娘の君子さんが父と同居を訪れた際、与えたのであった。

米多家は世間体をはばかって、青い目や頭髪の部分をコールドレスで黒く塗り、和服を着せ帽子をかぶせて日本人形もどきに、君子さんの愛が用にした。君子さんは喜んでそれを毎日抱いたり背負ったり、「ねんねんよの子守歌などを歌って無邪気にかわいがっていたのである。その後、終戦となった後々までも章夫氏は、